

SC 通信 VOL.4

(小山市生活支援コーディネーター広報誌)

各地域の生活支援コーディネーターの活動状況をお知らせいたします。

小山市社会福祉協議会の見守り・ささえあい活動の紹介

「生活支援ボランティア入門編講座」

この講座を聞く意義

- ① (誰かの) 実証的な介護のために
知っていただけたら……
→ 小山生活支援の担い手
- ② (自分の) より良い老後のために
→
- ③ (子供達の) 未来のために
→

小山市社会福祉協議会では、高齢者の見守り・支え合い活動を担うボランティア講座を開催しています。毎年1回、10月に4回講座として開講、高齢者に多い病気や認知症についてや、ボランティア活動とは何か？人と接するときのコミュニケーションなどを講師の方から聞き、グループで話し合い、学びを深めます。
※12月には『活用編』として、実際のボランティア活動を見学する講座もあります。

グループで
わいわい
楽しく学べる
講座です！

(第1層 SC)



NPO 法人福聚会 青田先生のお話



羽川北お買い物支援



常設型サロンのボランティアさん



■お問い合わせ：小山市社会福祉協議会
地域福祉係 23-1887

美田地区

初田郷富士見荘を会場にした

認知症サポーター養成講座

R7.3月に小山市大字下初田にある特別養護老人ホーム 初田郷（はつだのさと）富士見荘さんから、「大きなフロアを利用して地域の方も気軽に参加できる福祉活動ができないか」と相談があり、市の認知症地域支援推進員との協力で「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

参加者は、施設で昼食やコーヒーを楽しみながら、認知症について考えることが出来ました。また、講座終了後、施設内の見学も行いました。「実際に、こんな感じなのかとわかり、貴重な体験をすることが出来た。」と参加者の方からも声を頂きました。施設の昼食は利用者様の昼食と同様のものを出して頂き、「栄養バランスが取れているし、何よりおいしい！」との声もあがりました。富士見荘さんからは、今後も、スペースを利用して活動を行っていきたい、昼食も事前に教えていただければ提供もできるとのことで、生活支援コーディネーターとして、『地域の集まりの場』活動の推進を行っていきたいと思っています。



■お問い合わせ：高齢者サポートセンター美田 32-1881

美田地区(第2層 SC)



富士見荘HP

小山北区(北部)

若木町花垣町本郷町買物支援

高齢で買い物に行くことが大変な方を対象に、月2回、地域のボランティアと“介護事業所ふれんど小山デイサービスセンター”の協力を得て、地域のスーパーで買い物ができる『買物支援活動』が行われています。高齢者の一人暮らしや夫婦世帯を主な対象として行っています。ボランティアの方々の協力もあるので、重い物の購入も安心してできます。

買い物をするだけでなく、買い物終わりや送迎の途中で利用者同士やボランティアの方々とおしゃべりできることも活動のひとつの楽しみになっています。

利用者の声

買物支援に参加するのは楽しい。買い物が大好きだから。安いものを買えると、得してルンルンしてしまう。
自分のための食材も買うけど、若い者や孫・ひ孫が喜ぶ物も買っておくと、喜ばれるの。お互いに買物支援に参加して十数年ぶりに会うことが出来てうれしかった。

ボランティアの声

商品を見て買えることがうれしいと思う。いつも楽しそうに買物支援に参加されています。行きの送迎時は季節の花や地域の移り変わりについての話で、帰りの送迎者では買った物を話したり、買った食材を使った料理を教わったり和気あいあいとした雰囲気です。

小山総合
(第2層 SC)



■お問い合わせ：高齢者サポートセンター小山総合 22-3061

大谷地区

ちょっとの声かけ、大きな安心

～大谷地区圏域地域ケア会議～

高齢者が安心して暮らせるまちをつくるため、地域で活動する役員さんや地域で自主活動されているグループの方、行政などの関係者が集まり、大谷地区で先進的に取り組む自治会からの活動報告も交え、これからの地域づくりについて意見交換を行いました。今回のテーマは『孤独死や認知症高齢者の増加への備え』です!!

話し合ったこと

- ★高齢者自身の心構えや日頃から準備しておくこと
- ★隣近所のできること
- ★自治会や組織で取り組めること

参加者からのご意見

- ★緊急連絡先を信頼できる人に伝えておく(民生委員や高齢者サポートセンターにも)
- ★ゴミ捨てのときや回覧板を渡すときに挨拶をしてみよう
- ★近所の方の異変に気付けるようにさりげない見守りをしてみよう
- ★サロンや体操、地域活動に積極的に参加しよう

課題も出ました

- ◆自治会の弱体化(自治会加入者の減少・イベントの減少・住民同士の関係希薄化)
- ◆民生委員の役割が多く、負担大(高齢者の増加で見きれない、多様な相談が多く把握が困難)
- ◆プライバシーや個人情報への配慮が難しい(守秘義務はあるが、住民の警戒心が強い...)

熱心に意見交換!



総勢89人! 話し合いの様子

★SCより★

🌻 ちょっとした一声が、安心につながります 🌻

まずは勇気を出して、あいさつや声かけをしてみませんか? その小さな一歩が、ご近所のつながりを生み、「ここにいてよかった」と思える地域の力になります。みんなで少しずつ声をかけ合い、あたたかい地域を一緒に育てていきましょう。

大谷地区担当(第2層 SC)



■お問い合わせ：高齢者サポートセンター大谷 27-6646